



訪問をするときの心得

事前に連絡をして 訪問日時を約束する

よそのお宅を訪問するときは、あらかじめ約束をしてからうかがうのがマナーです。電話やはがきなどで訪問したい旨を伝え、先方の都合を聞いたうえで訪ねる日時を決めます。

近所に来たついでに立ち寄るときでも、公衆電話などで連絡してからうかがうようにします。

訪問するときは食事時間を避ける

先方から招待されたのではなく、こちらからおじやまする場合は、午前中なら10時から11時ごろまで、午後なら1時から4時ごろまでにかがうようにします。食事どきや朝夕のせわしない時間帯は遠慮します。なお、簡単な用件なら、玄関で辞去するのが心づかいです。

手みやげは用意しておく

日ごろから親しく行き来している関係であれば、いちいち手みやげを持参する必要はありませんが、ちよつと改まった訪問の場合は、2千〜3千円程度の手みやげを用意したいものです。次に手みやげを選ぶときのポイントとマナーを示しておきますので、参考にしてください。

● 遠方のお宅を訪問するときは、こちらの地元の名産品や地酒などが喜ばれる。

● ホームパーティーに招かれたときは、ワイン、デザート、テーブルに飾る花などがおしゃれ。

● 礼を尽くしたい訪問先には、老舗（しんせ）の銘菓、酒など格式のあるものを。「粗品」と表書きしたのし紙をつけて。

● 手みやげは、訪問先の近くの店では買わない。

● いただき物をそのまま持参しない。

身だしなみのチェックを忘れずに

好感をもたれる身なりを心がけることも大切なマナーです。出かけるときは、次のような点をもう一度チェックしてみましよう。

● 太ももまであらわになるミニスカートや、ぴつたりしすぎるスカートをはいていないか。

● 化粧が濃すぎたり、香水がきつすぎないか。

● 靴下やストッキングが破れていないか。

● 靴や足から悪臭がしないか。

● 靴が汚れていたり、中敷きがはがれたりしていないか。

約束の時間より早く着くのは 相手に迷惑

先方は約束の時間に合わせてもてなしの準備をしているものです。早く着いてしまったときは近所で時間をつぶして、約束の時間よりやや遅れぎみにうかがうようにします。事情があつてだいたい遅れるときは電話で失礼を詫び、何時ごろ到着できるかを伝えます。



手みやげを訪問先の近所で買うと、いかにも間に合わせのようで相手に対して失礼。前もって用意しておくのがマナー

- 賞味期限の切れたもの、期限ギリギリのものは持参しない。
- 調理法がよくわからない食品は、たとえ珍味といえども避ける。
- ショートケーキのように個別になつているものは、人数分より2、3個多めに用意する。ただし、4個や9個など縁起の悪い数は避けたほうが無難。



訪問先に到着したら

コートや帽子は玄関の外で脱ぐ

親しい間柄なら、多少の無作法も許されるかもしれませんが、改まった訪問の場合は、到着するなり玄関のドアを開けて入るようなことは慎みましょう。

●訪問先に着いたら、チャイムを鳴らす前に、ひと呼吸おいて服装を再度チェックする。

●コートを着ているときは、玄関の外で脱いで手にかけて。手袋やショール、礼装用以外の帽子も外で脱ぐ。

●雨にぬれた傘は、外に傘立てがない場合は、ドアのわきに立てかけておき、玄関内には持ち込まない。

チャイムは続けて何度も鳴らさない

玄関先で身だしなみを整えたら、チャイムをていねいに1回鳴らし、相手の応答を待ちます。

★呼び鈴がついていないとき

玄関のドアを少し開けて「ごめんください、〇〇でございます」と名前を告げて応対を請います。

★呼び鈴を鳴らしても返事がないとき

ドアを少し開けて「ごめんください」と声をかけます。決して勝手口に戻ってのぞいたりしないこと。

玄関でのあいさつは「簡単」

正式なあいさつは、部屋に案内されてからするので、玄関では立ったまま、簡単なあいさつだけにします。

●お歳暮などを持参したときは「ご無沙汰しております」。

●急な訪問の場合は、「お忙しいところをお邪魔いたします」。

●パーティーなどに招待されたときは、「本日はお招きいただき、ありがとうございます」など。

はき物を脱ぐときは、相手に背を向けない

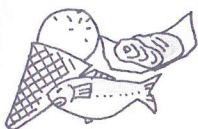
「どうぞおあがりください」とすすめられたら、「おじゃまします」と言って、前向きのまま、はき物をそろえて脱ぎます。後ろ向きになって脱ぐのは、相手におしりを向けることになって失礼にあたりますから気をつけましょう。

脱いだはき物は、式台にひざまずいて、つま先が外を向くようにそろえ直し、玄関の右寄りか左寄りに置きます。中央に置かないのは、ほかの人のために場所を空けておくという気配りです。

POINT アドバイス

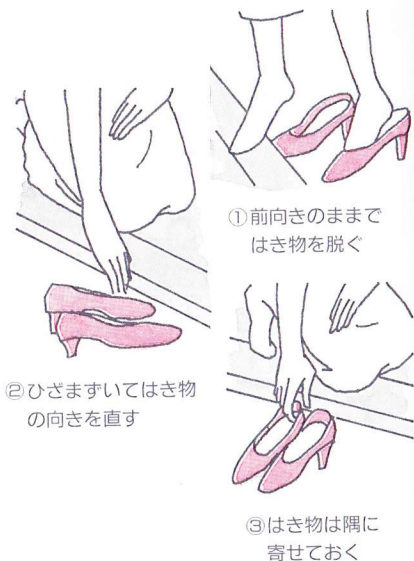
なま物は玄関で渡す

菓子類などの手みやげは室内で差し出しますが、アイスクリーム、鮮魚、肉など冷蔵が必要なものや、すぐ水につけてもらいたい切り花などは、玄関先で手渡すようにします。



トイレを借りるとき

トイレは訪問する前にすませておくのがエチケットですが生理現象ですから思いどおりにはいきません。もしトイレの必要に迫られた場合は、「トイレを拝借します」と断ってから使わせてもらいます。使用後は汚れのチェックを忘れずに。



①前向きそのままはき物を脱ぐ

②ひざまずいてはき物の向きを直す

③はき物は隅に寄せておく

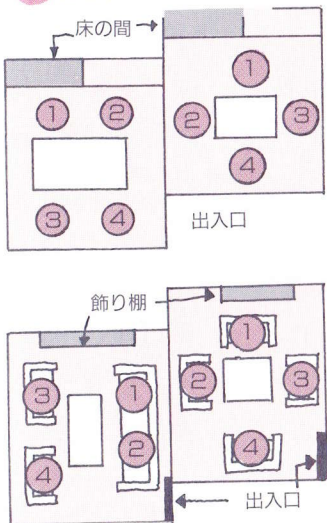


部屋に通されたら

上座は上位の人が座る位置

部屋に案内され、家人にすすめられたら席に着きます。席はすすめられたところに座るのが基本。とくに指定がないときや相手が自分より目上の人の場合は、下座に座るのがマナーです。

和室と洋間の席次



和室では床の間の前が上座^{かみざ}で、下座はその反対側の入口近くです。床の間がない場合は、入口からもっとも遠い席が上座です。ざぶとんはすすめられてからあてます。洋室では飾り棚や暖炉があるほうが上座で、ドアの近くが下座になります。椅子にかけて待つようにすすめられたらそれに従い、主人が部屋に入ってきたら、椅子から立って改めてあいさつをします。

手みやげはあいさつがすんでから渡す

手みやげを持参した場合は、あいさつを交わしたあとですぐに差し出します。

紙袋に入れたものやビニールの風呂敷に包んでもるのは、品物を取り出し、相手のほうに向けて両手で差し出します。このとき、「○○のお菓子です。お口に合うとうれしいのですが……」などと言ひ添えます。

出された茶菓は遠慮なくいただく

お茶やお菓子をすすめられたら、遠慮しないでいただき、食べ残しや飲み残しをしないのがマナーです。嫌いなものを出されて、どうしても食べられないときは、「申しわけありませんが○○は苦手なもので……」と断って、初めから手をつけないのが礼儀にかなっています。黙って手をつけないのは、相手によけいな気づかいをさせることになり、かえって不親切です。

座礼のしかた



両手の人さし指をつけて、上体を腰から自然に倒す



頭だけ下げるのは見苦しい

目上の人のお宅や初めてのお宅では長居はタブー

あとあとまで好印象を残すには、長居をしないことです。とくに目上の人のお宅や初めてのお宅を訪問したときは、用件がすみしだい、早めに辞去します。

タイミングとしては、相手がお茶を入れ替えようとしたときや、ひととおり話がすんで話題が途切れたときなどですが、これもなかなかむずかしいもの。あらかじめ辞去する時間を伝えておくと、時計を見て「そろそろ失礼します」とスマートに切り上げることができます。

帰りぎわにはお礼とあいさつを忘れずに

- 和室ではざぶとんから下りて、洋室では椅子のわきに立って、「ごちそうさまでした」とお礼を言う。
- 靴をはいたあとで「どうぞ」とすすめられたら、コートを着用する（帽子や手袋は玄関の外に出してから）。
- 脱いだスリッパの向きを正して、隅に寄せる。
- 改めて「失礼いたします」とあいさつして外へ出る。